

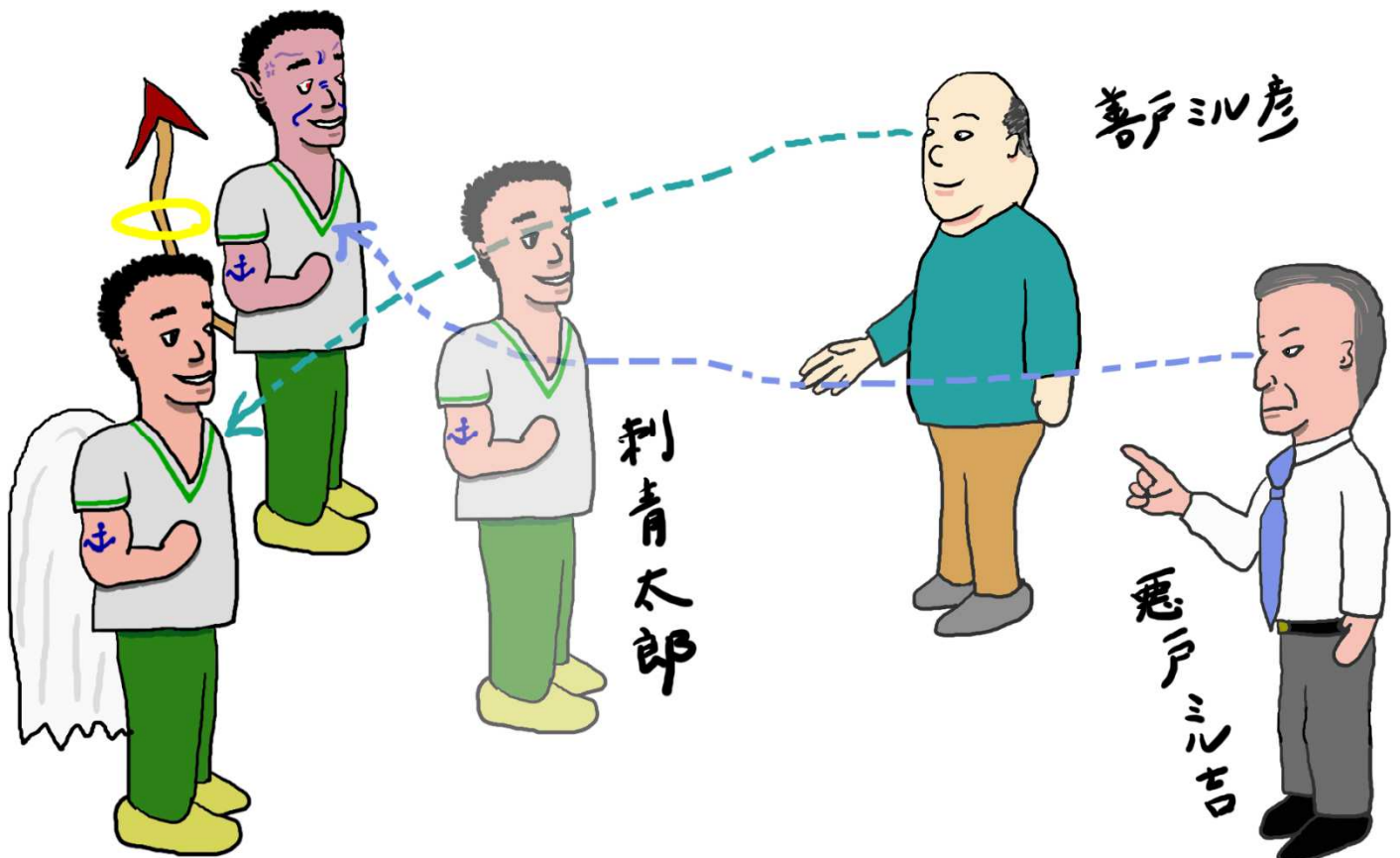
悪い善い人

- 4



東郷 潤

ここに刺青をした刺青太郎さんと、刺青太郎さんがどんな人かと考えている悪戸ミル吉さん、善戸ミル彦さんがいます。善戸ミル彦さんは、刺青太郎さんを愛に溢れた善い人に違いない、と思いました。一方で悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんを常習的な犯罪者だと思いました。



それで、実際はどのようなのでしょうか？
…現実の刺青太郎さんは、信頼に足る、
とても仕事が出来る人でした。



善戸ミル彦さんは刺青太郎さんをとて
も善い人だと思ったので、その認識に
基づいて刺青太郎さんを扱います。例
えば、善戸ミル彦さんが就職の面接官
なら・・・

あなたの会社にぜひ
就職させてください



善い人を積極的に雇おうとするのは、
当たり前のことです。

悪戸ミル吉さんは刺青太郎さんを悪い人だと思ったので、その認識に基づいて刺青太郎さんを扱います。例えば、悪戸ミル吉さんが就職の面接官なら・・・

**あなたの会社にぜひ
就職させてください**



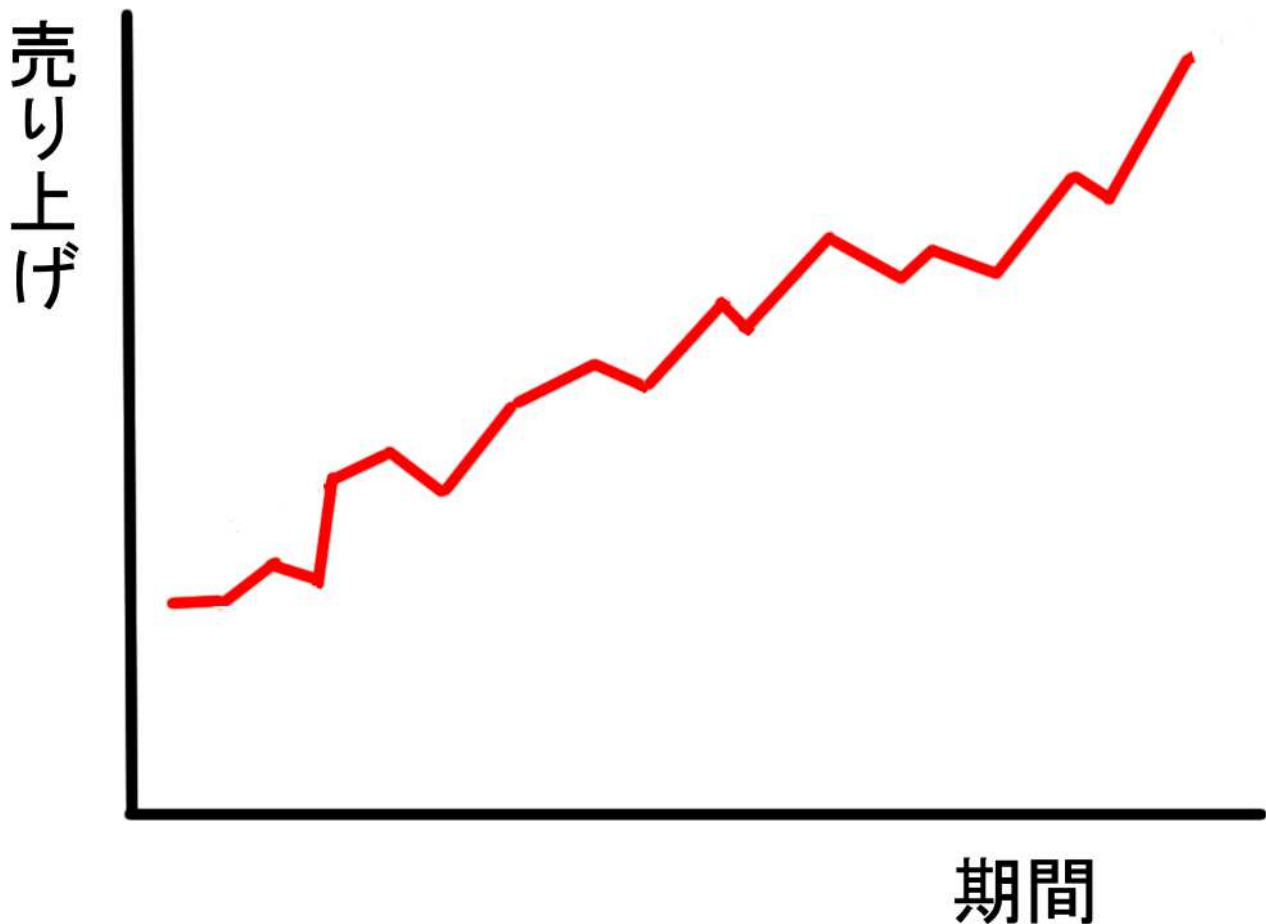
だめ！



悪人らしき人を不合格にするのは、当たり前のことです。

【善戸ミル彦さんの場合】

善戸ミル彦さんに雇われた刺青太郎さんは、熱心に働き、善戸ミル彦さんの会社は大いに発展しました。



【悪戸ミル吉さんの場合】

悪戸ミル吉さんに就職を断られた刺青太郎さんは、ライバル会社へ就職しました。おかげでライバル会社はどんどん売り上げを伸ばし、悪戸ミル吉さんの会社は競争に負けてしまいました。



もう倒産だ！

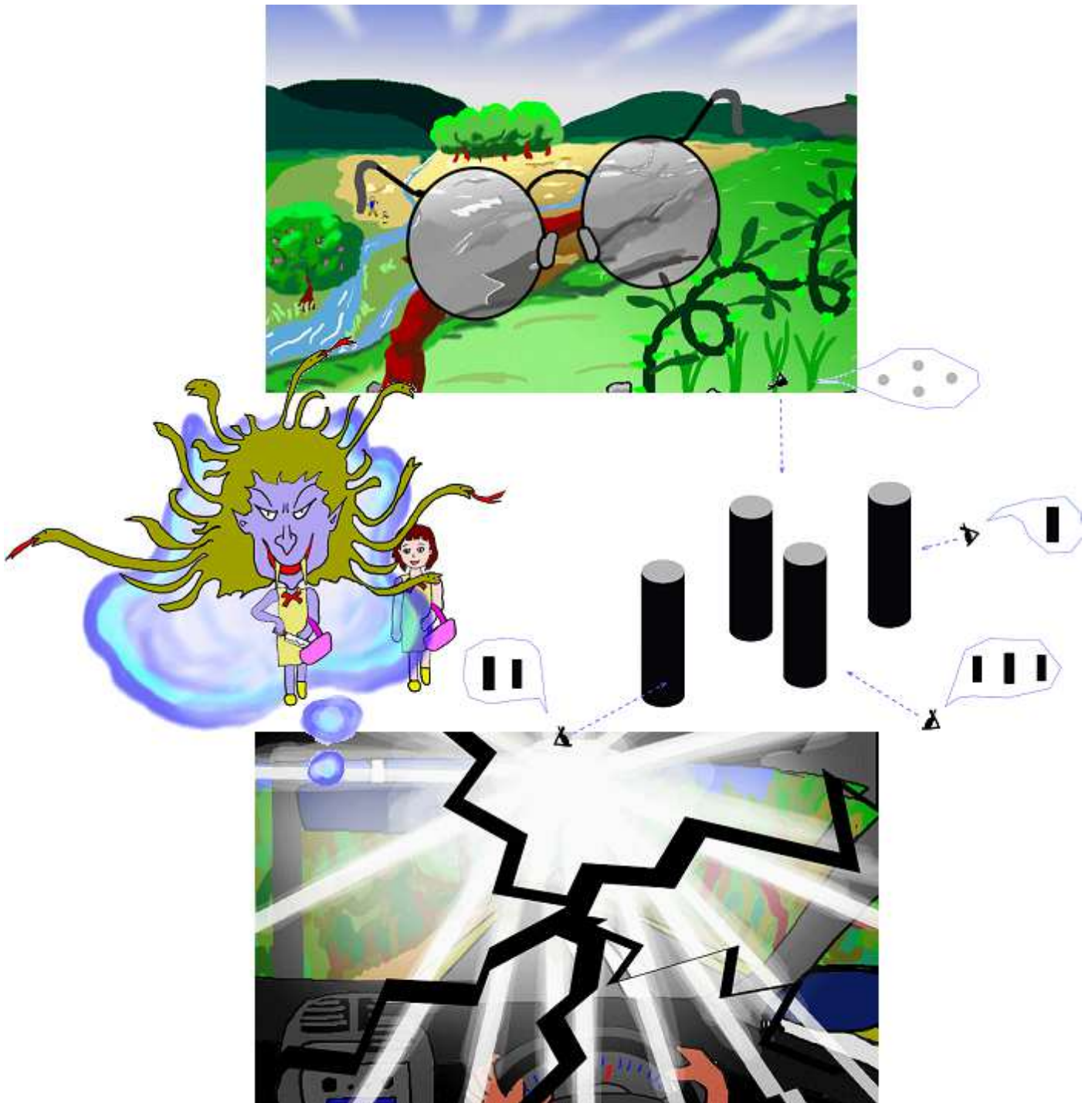
常習的な犯罪者を無防備に信用することは、危険なことでしょう。一方で、信頼に足る人を犯罪者だと誤解することも得にはなりません。認識を間違えては、望む結果を得ることは出来ません。



もうお分かりですね？ 問題は差別
という「悪」や差別主義者という「悪人」
をいかに滅ぼすかにあるものではありません。



問題は誰もが行なってしまうこと、つまり、認識を間違えること（=錯覚、理解の不足）にこそあるのです。ⁱ



あとがき -絵本「悪い善い人-4」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さい結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013

i これらの絵は以下の絵本から。どれも現実認識の失敗を表現したものだ。

- 絵本「サングラス」 ●絵本「心という現実」
- 絵本「三次元だよ」 ●絵本「見えない危険」